

活用力と表現力の育成を図るための PISA タイムの実践

【久喜市教育委員会】

- 1 学校、学年、教科 小学校、全学年、国語・算数
- 2 ねらい テキストを読み取り、学んだことを生かして課題解決し、根拠をあげて説明できる力を育成する学習活動の工夫

3 取組内容

●活用力と表現力の育成を図る PISA タイムの設置

※自分の考えを言える子、書ける子になるための時間

(教師が課題を与え、それに対する自分の考えを根拠をつけて表現する学習活動)

毎週木曜日の 1 : 30 ~ 1 : 50、あらゆる教科領域から児童の活用力・表現力を高めるために、工夫した教材作りと学習のねらいと評価規準を明確にした指導を行う。

- 理由をつけてはっきり話す。
- 大事なことを落とさず、順序良くまとめる。
- 楽しみながら語彙を増やす。
- 教科の学習と関連させて自分の考えをまとめる。
- 学習を生かして、続き話などを創作する。
- 過剰な情報から必要な情報を選択し、柔軟に問題解決する。
- 正確に読み取り、分かりやすく簡潔に説明する。
- グラフや資料を正しく読み取り、問題解決を図る。
- 読書量を増やし、考えを深める。
- 自分観を持って読み取り、意見交換する。

4 成果と課題

○テキストの読み取り、自分の考えを書いたり説明したりできる思考力・判断力・表現力が向上してきた。

